

大学名 豊橋技術科学大学

第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題 学部から大学院まで、高度な技術者養成のための「対話」型リベラルアーツ教育

## 特色ある取組

本学では、特色ある取組みとして、

**学部3年次、大学院博士前期課程でもリベラルアーツ教育**を行っています。したがって、どの年次から入学しても**必ずリベラルアーツ教育を受ける制度設計**となっています。

その理由は、本学の約8割の学生が3年次に編入してくる高専卒生であること、そして、卒業後高度な技術を生かして創造的・指導的技術者として活躍するためには、「人間力」に加え、多文化・異分野理解が不可欠であるという理念によります。

また**学部生・大学院生混合のクラス編成**を行っています。そこは、学部生も大学院生も、日本人学生も留学生も混在する、**様々な他者と「対話」する「場」**となっています。現在、これをさらに発展させ、分野の異なる教員も参加する**異分野融合、文理融合の「対話」型リベラルアーツ教育**を構築中です。

自分の殻を打ち破り、より大きな人間に成長し、多様性と普遍性の感度を育み、人間の弱さや不安に寄り添い、そこに潜む問題を見つけ、解決できる高度な技術者を養成するためのリベラルアーツ教育を、私たちはこれからも模索し続けます。

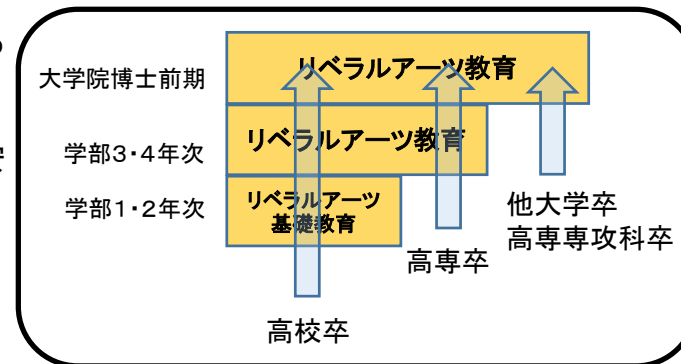
## 経緯、期待できる成果・評価など

人間としても優れ、高度な技術で世界に貢献できる技術者を養成するには、充実したリベラルアーツ教育が不可欠である（本学のリベラルアーツ教育）という理念は、開学以来一貫した本学の教育理念です。それに加え、2012年の学部生を対象とした調査で、**国語力が低くてTOEICスコアが高い学生が存在しない**という結果を得たことにより、国語力と英語力を基礎とし、多文化・異分野を多く経験できる「対話」型リベラルアーツ教育を導入しました。学生や卒業生のアンケートによる満足度は高く、TOEICスコアの平均点も確実に向上していることから、本学のリベラルアーツ教育が成果を上げていると考えています。

## 取組の様子



（グループ対話の様子）



## 参考URL

<https://las.tut.ac.jp/index.html>